



ぐんぐん夢プランふり返しアンケート

(後期)

<発行日>令和8年2月吉日

<発行者>京都市立大將軍小学校長 金子 真也

Tel 075-461-4310 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daishougun-s/>

学校教育目標 自他ともに大切に し 未来に向かって努力し続ける子

令和7年度後期 ぐんぐん夢プランふり返しアンケートから

12月に今年度2回目のふり返しアンケートを保護者の皆様と子どもたちに実施いたしました。前期に引き続きオンラインでのアンケートになりました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。結果を分析・検討し、「来年度の展望」としてまとめさせていただきました。前期と比べて、変化が見られる場合のみ、前期と後期を載せております。

ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。

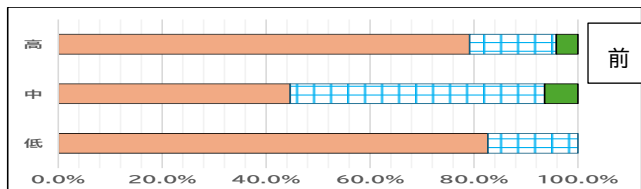
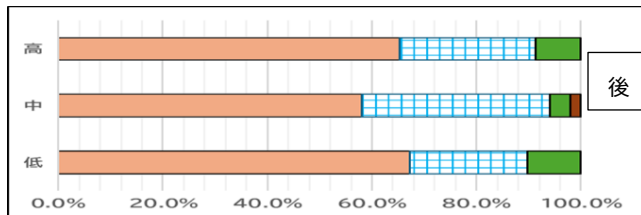
これからも「子どもたちが明日も行きたい学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思っております。

「楽しい学校」づくりをめざして

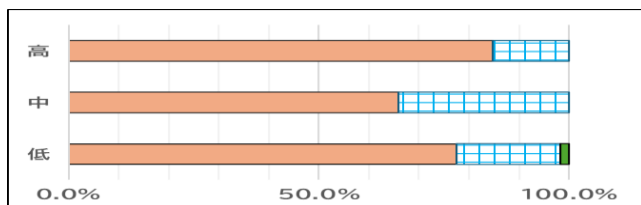
できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない

【児童】

○ 学校が楽しい。

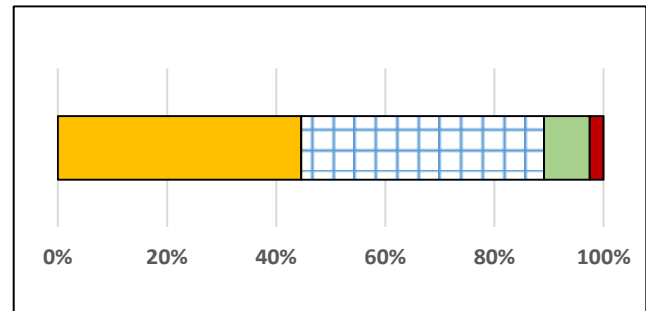


○ 友達を大切にしている。

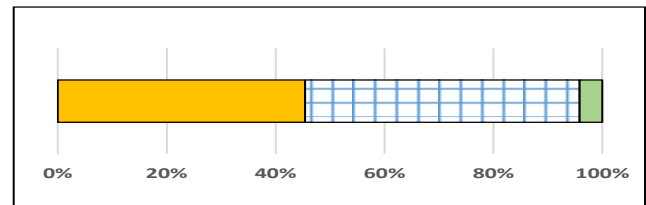


【保護者】

○ 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。



○ 子どもが友達を大切に、仲良くするように家で働きかけている。

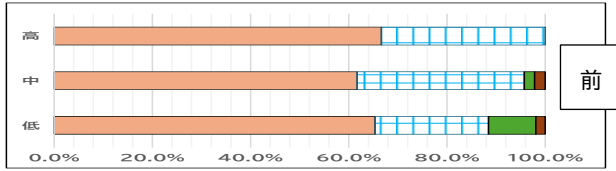
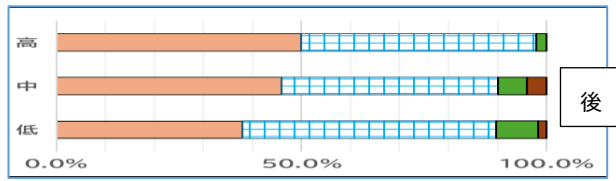


前期と同様に、児童・保護者ともに「学校が楽しい」と回答した割合が90%を超えるという、たいへん嬉しい結果となりました。一方で、前期と比べると、低学年では「あまりそう思わない」と回答した児童が数%いることや、中学年においても「思わない」と回答した児童が数%いるという事実について、私たちは真剣に受け止め、一人一人に寄り添っていく必要があると考えています。なぜ学校という集団の中で学ぶのか、また、友達と共に学ぶことにはどのような意義があるのか。そのよさを実感できる取組や活動を、今後さらに充実させていくことが大將軍小学校の目指す子ども像にある「人とのつながりができる子」に結びつくと思っております。これからも、児童一人一人の声に丁寧に耳を傾け、寄り添った教育を積み重ねていきたいと思っております。

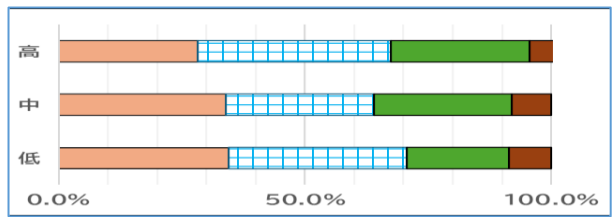
「よりよい授業」づくりをめざして

【児童】

○授業はよくわかる。

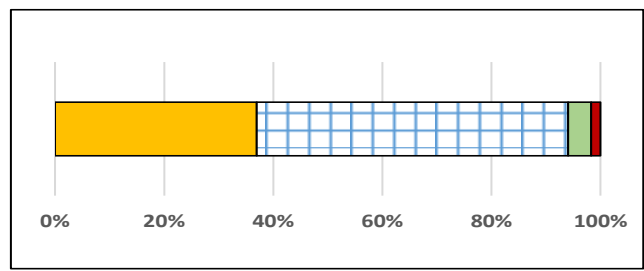


○授業中、自分から進んで発表している。

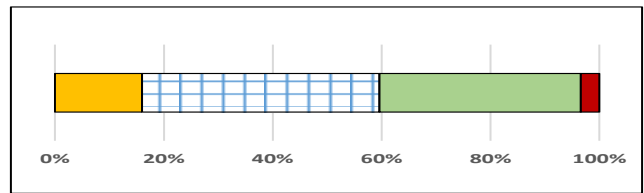


【保護者】

○授業はわかりやすい。



○子どもが授業中進んで発表するように励ましている。

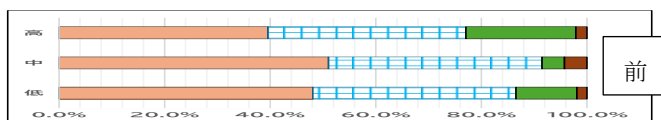
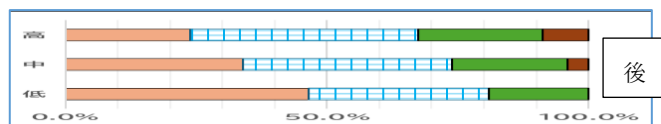


「授業はよくわかる」の項目について、前期に比べて低学年・中学年の数値が向上しています。大將軍小学校では、いわゆる「教授型」の授業だけでなく、子どもたちの主体性や、表現する喜びを大切に授業づくりに力を入れています。小学校は、学びの基礎を築く大切な段階です。子どもたちが自ら学ぼうとする意欲をもつためには、身の回りのさまざまな事物や現象に対して「問い」をもつことが重要であると考えています。今後も、子どもたち一人一人の学びを大切にしながら、「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。

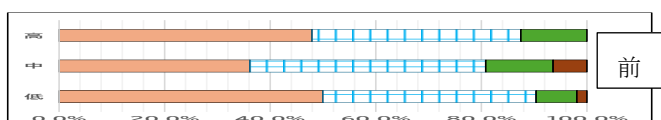
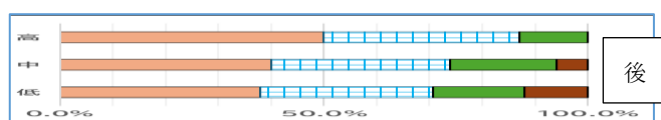
「元気に毎日が過ごせる子」をめざして

【児童】

○困ったことがあれば先生に相談できる。

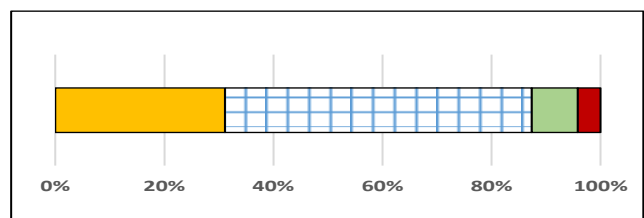


○自分のいいところをほめてもらっている。

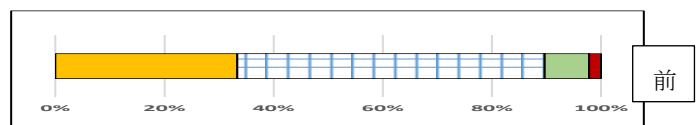
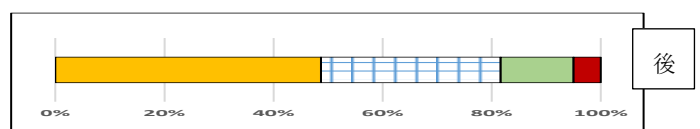


【保護者】

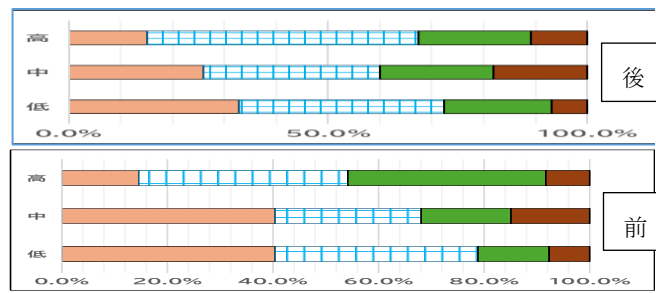
○子どものことを学校や先生に相談しやすい。



○学校は子どもの良いところを見つけている。



○自分のいいところと言える。



○子どもの良さを認め、ほめるようにしている。

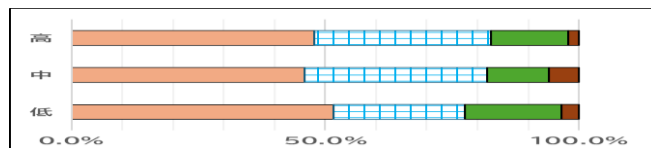


「困ったことがあれば先生に相談できる」「自分のよいところをほめてもらえる」「自分のよいところと言える」といった項目については、前期に比べて数値が下がる傾向が見られました。一つの事例をとってみても、「当たり前のこと」として捉えるのか、「毎朝がんばって起きて学校に来ているね。えらいね。」と、一人一人の努力に目を向けて子どもたちに向き合うのかで、受け取る側の感じ方は大きく変わるのだと、改めて感じています。近年、できないところに目を向けるのではなく、できたこと・がんばったことに目を向けることを大切にす方向へと変化してきています。今後も保護者の皆様とともに、子どもたち一人一人のすべてを受け止めながら、よりよい自己理解につながるよう努めてまいります。

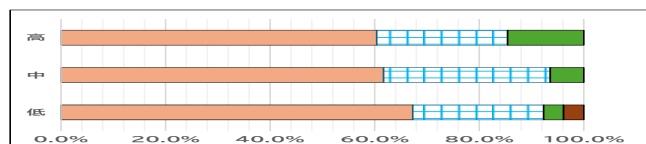
家庭のこと・地域のこと

【児童】

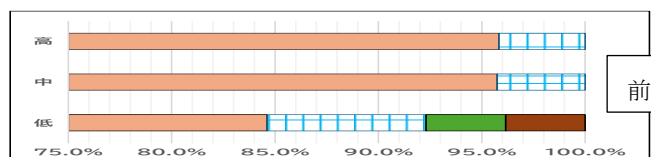
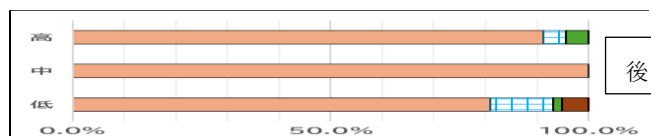
○家族に学校のことをよく話す。



○地域の人に積極的にあいさつしている。

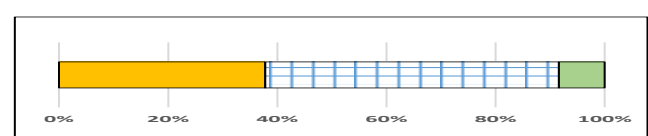


○毎日朝ご飯を食べて登校している。

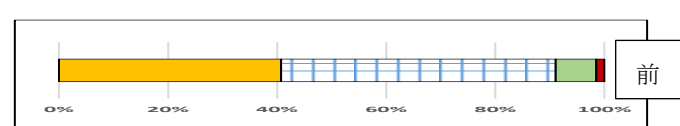
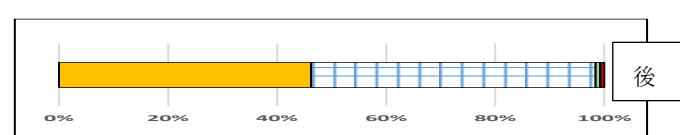


【保護者】

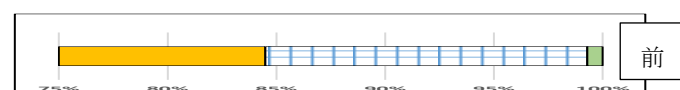
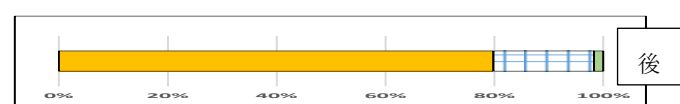
○学校のことについて子どもと話すようにしている。



○子どものお手本となるよう、地域の方々にあいさつをするよう心がけている。



○子どもはきちんと朝食を食べている。

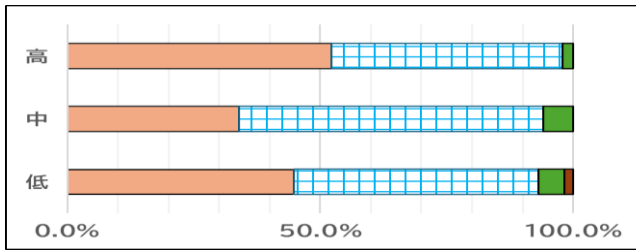


前期と変わらず、ご家庭で学校の出来事について多く話題にしている様子が、アンケートからよく伝わってきました。特に、中学年・高学年になっても家族と学校のことを話せる環境が、子どもたちの心の安定につながっていると感じています。また、子どもたちは日頃から気持ちのよい挨拶をしてくれていますが、その挨拶に関する数値が前期に比べてさらに向上しており、今後も大切に引き継いでいきたい姿だと考えています。朝食に関する項目についても、前期と比べて低学年・中学年で数値がより伸びています。子どもたちが心身ともに健康な状態で学習や友達との関わりに向き合えることは、毎日の朝食が大きな支えとなっていることを、改めて実感しています。

ルールのこと

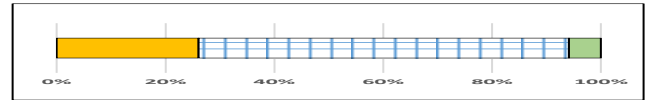
【児童】

○学校のルールを守っている。

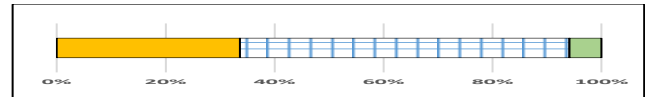


【保護者】

○子どもの手本となるよう、規範意識(ルール・モラルを守って行動している。)



②子どもが規範意識(ルール・モラル等)を高めるように話をしている。



自分は学校のルールを守っていると自覚できている児童は、95%を超えています。これは、日頃の保護者の方の姿や、家庭での丁寧な教育が大きく影響しているのではないかと感じています。規則を守るという姿は、学校教育目標にある自他を大切にすることにつながる姿です。人を縛るためのものではありません。人が社会の中で皆が気持ちよく過ごすためにはどうすればよいか、またお互いを守るためにはどうすればよいかを考え、生み出された「人間の知恵」だと言われています。学校は、小さな社会です。子どもたちが、やがて日本の社会をよりよくしていく力を身に付けられるよう、これからも学校と家庭が連携しながら、指導を続けていきたいと考えています。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

大將軍小学校の子どもたちは、友だちと学び合い、切磋琢磨し、助け合うことのよさを、日々の生活の中で感じながら過ごしているのではないかと思います。

紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することはできませんが、ホームページには全項目を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、地域の皆様には、下校時の見守り活動だけでなく、放課後まなび教室や読み聞かせ、総合的な学習の時間でのゲストティーチャーなど、児童の学びや安全に深く関わっていただいています。学習については、学校運営協議会で計画し、実施しています。詳細は、学校ホームページの「ぐんぐん夢プラン」の項目に掲載しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

学校日記



カテゴリ

- 学校教育目標・経営方針 (12)
- 学校評価結果等 (18)
- 学校沿革史 (11)
- 学校の様子 (6132)
- お知らせ (49)
- ぐんぐん夢プラン (59)
- 修学旅行 (71)
- 山の家 (106)

【ぐんぐん夢プラン 理事会・企画推進委員会より】

- ・「自分から進んで発表している」は、二極化しているのではないだろうか。タブレット学習が進む中、項目を「自分の思いや考えを伝えることは楽しいですか。」などに変えていってもよいのかもしれない。
- ・様々な地域行事を通して子どもたちの成長を見られて嬉しい。
- ・家庭では、子どもの失敗を避けるために先回りして手を差し伸べてしまう場面があり、自主性や判断力の育ちに影響している可能性があるのではないかと。
- ・道路の真ん中を走る児童が見られ、非常に危険である。
- ・今年度から、学校と保育園との交流が増えたことで、年長児にとっては就学への喜びが生まれ、1年生にとってもよい経験となっている。今後も継続してほしい。